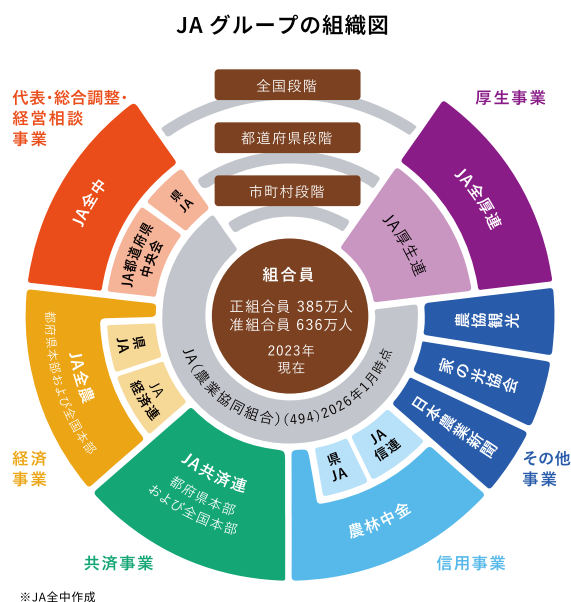


JAグループとは

組合員に対してJAの事業力をより発揮するために、各事業を専門とする都道府県段階の組織と全国段階の組織があります。これらの組織が事業ごとに連携し、取り組みをすすめており、JA・都道府県・全国の組織全体をJAグループといいます。

例えば、農畜産物の広域販売や生産資材の仕入れなどを担うJA全農・JA経済連、組合員のくらしの保障を担うJA共済連、資金の運用などを担う農林中央金庫・JA信連などがあります。

都道府県段階のJA都道府県中央会、全国段階のJA全中はJAグループの代表・総合調整・経営相談などの機能を担っています。



TOPICS

第30回 JA 全国大会決議のご紹介 ～JAグループのめざす姿～

JA全国大会は、JAグループ全体の中期的な方針（JA全国大会決議）を確認し、決める場です。ここで決定した内容に、地域の実情や組合員の声などを踏まえながら、各都道府県でも大会を行い、さらにそれを踏まえて、各JAは中期計画や事業計画等を策定します。つまり、JA全国大会決議は、JAグループが、同じ方向に向かって取り組むための「羅針盤」と言えます。

第30回JA全国大会(2024(令和6)年10月18日)では、JAグループの取り巻く環境やJAグループに寄せられる期待や果たすべき役割の変化をふまえ、「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」をJAグループのめざす姿としました。

JAグループのめざす姿の実現に向けて5つの取組戦略を策定し、2025（令和7）年度からの3カ年をかけて実践をはかっていきます。

JAグループのめざす姿

- 1 持続可能な農業の実現
- 2 豊かでくらしやすい地域共生社会の実現
- 3 協同組合としての役割発揮

5つの取り組み戦略

